

歳入決算額は276億1050万円、歳出決算額は262億2714万円となりました。第一の特徴としては、前年から引き続き社会情勢を見ながらの原油・物価高騰等に

対しての支援です。食料品等価格高騰重点支援給付金、よしかわくらしサポート商品券給付、物価高騰対応支援給付金、均等割のみ課税世帯支援給付金等々、物価高騰に喘ぐ低所得世帯や事業所・農業者等への切れ目なく丁寧な支援を実施。多くの市民・事業者を救ったものと高く評価いたします。また、昨年9月にご提案したラインアプリによる防災情報発信にも取り組まれ、これも市民の安心安全に資するものとして評価。

【国民健康保険特別会計】

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

【反対討論】

遠藤 義法 議員

吉川市は令和5年度からの国保税を引き上げました。4人家族で給与収入が430万円の国保税が43万300円から45万700円に2万400円、4.7%も引き上げられました。

所得が減っている中で値上げを行い、さらにこれから毎年国保税を引き上げる市の計画です。1人5万9千円の均等割は子育て支援に反しています。国の公費負担を抑え、市の一般会計繰入を減らし、全廃する計画が大きな要因です。

国保加入者は、無所得者、年金生活者、非正規労働者など所得が低い方々が加入しています。社会保障制度としての国の公費負担、市の一般会計からの繰り入れを行い、市民の暮らしと健康を守るべきです。

【介護保険特別会計】

介護保険特別会計決算に対

し、1名の議員が討論をおこないました。

【反対討論】

雪田 きよみ 議員

令和5年度の当初予算と決算とでは、約2億円の乖離がみられる。

介護職員の不足は本当に深刻であり、特に訪問介護で深刻である。ケアマネは一人ひとりの生活を十分に見てアセスメントをし、プランを作成している。そのプラン通りの介護サービスが提供できない現実是非常に深刻な問題。こうした現状の積み重ねの中に2億円の乖離があると考え

る。介護事業所にとっても、事業の継続が非常に困難になってきている。今夏、定期巡回サービス事業所が事業を休止した。事業所が安定的に経営することができるよう、市は何をするべきかしっかりと考えていただきたい。

主な議案のあらまし

人事案件

◆教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の小林照男氏が令和6年9月30日をもって任期満了となるため、再度任命することに同意するものです。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の戸井田均氏が令和6年9月16日をもって任期満了となるため、その後任に土屋雄志氏を選任することに同意するものです。

追加議案

◆財産の取得について

令和2年度と令和6年度に取得した吉川市立小学校の教員が使用する教科書及び指導書等については、条例の規定に基づき、予定価格が2千万円以上であることから、追認の議決を得るものです。

◆吉川市地域公共交通協議会条例の一部を改正する条例

道路運送法及び道路運送法施行規則の一部改正に伴い、運賃等の協議を行う場合、独占禁止法に抵触することがないよう、協議を行う関係者を限定することとなったことから、吉川市地域公共交通協議会の中に、構成員を限定した分科会を設置するための変更などを行います。

◆吉川市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例

農地面積の減少により、農業委員会等に関する法律施行令で定める基準（農地面積が1300ha以下の場合、農業委員の上限は14人）に従い、農地法に基づく許可の審査などを行う農業委員の定数を現行の18人から14人に見直そうとするもので、令和7年4月1日から施行となります。遊休農地の解消活動などを行う農地利用最適化推進委員の定数6人の変更はありません。